

Academic Library

著書紹介

著者自らが
近刊を紹介します。



「はじめて学ぶロシア文学史」

文化創造学部助教授
杉本一直 (共著)

- ▼A5判/492ページ/ミネルヴァ書房/3,675円(税込み)/2003.9.15発行
- ▼中世から現代にいたるロシア文学史を概論だけでなく作家紹介、作品紹介に重点を置いて論じたもので、入門書の域を超えた本格的文学書となっている。代表的作家や詩人のテキストの断片を露日対訳の形でふんだんに盛り込んでいるのも画期的な点。

「たのしく読める日本児童文学<戦前編>」 「たのしく読める日本児童文学<戦後編>」

文化創造学部助教授
酒井晶代 (共著)

- ▼A5判/各248ページ/ミネルヴァ書房/各2,800円+税/2004.4.10発行
- ▼明治期から1980年代までの代表的な児童文学作品を<戦前編><戦後編>の2冊で紹介したブックガイド。北川千代「春やいつこ」、椋鳩十「動物ども」、岡野薫子「銀色ラッコのなみだ」、後藤竜二「天使で大地はいっぱいだ」など8点の解題を執筆した。



「認知のエイジング:入門編」

コミュニケーション学部助教授
坂田陽子 (共監訳、共訳)

- ▼A5判/320ページ/北大路書房/3,360円(税込み)/2004.3.20
- ▼健常高齢者の認知機能は健常成人のそれと比較してどのように異なるのか? 何が衰退し、何が維持されるのか? このような疑問に対して、さまざまな心理・生理学実験とその結果を明示することにより、解決しようとしている。

「実験で学ぶ発達心理学」

コミュニケーション学部助教授
坂田陽子 (共編、共著)

- ▼B5判/260ページ/ナカニシヤ出版/2,730円(税込み)/2004.4.20
- ▼認知発達を20の分野に分け、各分野のメジャーな実験論文をきちんと紹介することにより、そこから得られた知見を詳しく解説した書。新たな知見はどのように得られ、どのように発展してきたか、またこれからの展望が手に取るように分かる。

